

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回日向市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和6年7月10日（水） 13時30分から15時00分まで
開催場所	日向市役所4階 第1・2・3委員会室
出席者	出席委員：11名／15名中 足立佳代会長、岩本倫尚副会長、本山隆太郎委員、河野悦子委員、橋本博委員、藤井さとみ委員、濱砂達洋委員、海野千浪委員、下田ゆかり委員、横山友梨子委員、酒井玉美委員 事務局：3名 総合政策部 濱田部長、総合政策部 小坂地域コミュニティ課長兼人権・同和行政・男女共同参画推進室長、総合政策部 地域コミュニティ課 人権・同和行政・男女共同参画推進室男女共同参画推進係 林田
議 題	・会長、副会長選任 ・本審議会の所管事務等及び日向市男女共同参画プランの概要説明
会議資料の名称 及び内容	・会議次第 ・日向市男女共同参画推進審議会委員名簿 ・第6次日向市男女共同参画プラン ・第6次日向市男女共同参画プラン（概要版） ・関連講座案内チラシ
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
■開会（進行：小坂課長兼室長） ■委嘱状交付 ■市長あいさつ ■自己紹介（委員、事務局） ■会長、副会長の選任 委員の互選により、会長に足立佳代委員、副会長に岩本倫尚委員が選任された。 ■本審議会の所管事務等及び日向市男女共同参画プランの概要説明（議事進行：足立会長） 事務局から、本審議会の根拠・目的、委員構成、所管事務及び「第6次日向市男女共同参画プラン」に基づく関連実施事業の評価方法等を説明し、質疑応答・意見交換を行った。 <質疑応答・意見交換> （会長） 説明について、意見・質疑があればお願いしたい。特になければ、私から1つよろしいか。「第6次日向市男女共同参画プラン」の策定当時と組織体制が変わり、	

女性活躍推進事業は地域コミュニティ課以外の課が担っているが、担当課では具体的にどのようなことを行っているか。

(事務局) 現在、総合政策課が女性活躍推進事業を担当している。昨年度を含め進めているのは、国の「えるぼし」や「くるみん」認定の取得を目指す様々な企業や事業所への支援として、手続きに必要な計画書作成に関する専門家をアドバイザーとして派遣すること。最近、少しずつ相談も増えてきている。また、「えるぼし」や「くるみん」認定を取得した事業所等が活動するための支援として奨励金の交付を行っている。昨年度はそのほか、元フジテレビアナウンサーの笠井信輔さんをお呼びして、女性の参画などについての講演会を開いた。現在、係は分かれているが、女性活躍は男女共同参画と密接な関係にあり、市の組織の中で男女共同参画を考えながらやるべき仕事は多く、その1つの分野として女性活躍の事業を総合政策課で行っているという状況である。

(会長) 女性活躍推進とは本当に密接な関係があるため、委員の皆様で企業などに周知していただくと、また広がっていくと思う。よろしくをお願いしたい。

(委員) 「第6次日向市男女共同参画プラン」56ページの主要課題4の(8)の既存家族経営協定の見直し農家数について、現在は何のくらいの方が家族経営協定に入っているか。

(事務局) この欄の上部には、毎年3月末時点での締結農家数を示している。担当部署からは令和4年度と5年度の締結農家数はいずれも26戸で、新規締結も見直しもなかったという報告を受けている。各分野で男女共同参画を進めるに当たり、普段感じておられることがあれば、ぜひ教えていただきたい。

(委員) 以前は、田んぼの中に入っていくのは女性で、トラクターに乗るのは男性という感じだったが、今は女性でもトラクターなどの大きい重機に乗る人が段々増えてはきている。農業の機械に乗るのは本当に大変だが、見直しされながら女性も活躍できるようになったのかなと思う。

(会長) 本当に農業面では、男女の役割でやっていたようなことも、技術の進歩、機械化により性別にかかわりなくできるようになっている部分がある。そういうことに関していかがか。

(委員) 私が従事している建設業では特に女性が少ないが、農業だけでなく、ほかの業種についてもこのような目標を立てるなどの取組があるか。

(事務局) 先ほどお話にあった農業の目標に対する関連事業については、「第6次日向市男女共同参画プラン」31ページの事業番号19のところに記載している。この担当課・

関係課欄に商工港湾課、農業畜産課、林業水産課、農業委員会とあるように、様々な課が課題を考えていく必要がある。建設業や様々な分野に女性が進出し、時代がかなり変わってきている。市役所においても、消防本部に初めて女性2名が入った。今まで男性職場だったため、24時間交替制勤務の女性専用寮を作った。男女平等の促進、平等意識の必要性が広がるにつれ、このプランの重みもどんどん増している。次の7次計画を立てる段階においては、皆様のご意見をいただきながら、施策を市のこういった基本方針に落とし込んでいけるよう、時代に応じてブラッシュアップしていく必要がある。学校現場では、小学校はおそらく女性の先生が多くなっている。このように働く場におけるということが今一番注目されており、この部分が大きなウェイトを占めている感じがするところである。

(会長) 建設業や運送業など、いろんな場面で性別役割分担ではない働き方が出てきている。このことが分かるように、こういうプランの中にも入れていくことが大事だと思う。学校ではいかがか。

(委員) 教員の世界というのは、男性だから女性だからというような役割の差は最初からなかった。私が教員になった時代には、会社では男性は仕事というようなことがあった。教員の世界は女性にとっても非常に良い職場なのではないかと、若い頃思っていたほど。今は管理職、校長先生になられる女性の方もたくさんおられ、女性の教頭先生も非常に多い。そのような状態にある。

(委員) 熊本では女性従業員のみのダンプの運送会社があり、その会社に仕事を依頼する所が多いと聞く。日向にもこのような会社があると良いと思う。

(会長) 働き方という話で言うと、今、男性の育児休業をもっと取りやすくするようになされている。男女問わず、長時間労働をどうするかという点が一つのネックになるのではないかなと思うが、このことについていかがか。

(委員) 育児休業を終えて職場に復帰すると、仕事が全く進んでおらず毎晩残業することになり、かえって家庭が大変になったという話も聞く。育児休業を取得する人の仕事を分担する体制をしっかりと作ることが大切だと考える。

(委員) 漁業の面では人手が少なくなってきており、雇用のことで皆さん大変な思いをされている。

(委員) 介護休業も取りづらい現状がある。仕事の内容によっては、その人しかできない場合もあり、介護休業を別の日に変更せざるを得ないこともある。

(委員) 介護の話で言うと、ギリギリまで我慢して家族で介護を頑張ったり、介護が必要になった人の配偶者が家事ができずに困ったりという話を聞く。そういう課題も見

逃さず見ていく必要があると思う。

(委員) 難しいところはたくさんあるが、少しずつ変わってきているので根気強い意識変革が必要と考える。

(委員) 保育の現場では、以前は、お母さんが子育てを頑張っているという印象が強かったが、今は行事や送り迎えにも、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなどで協力して行われていると感じる。私たちは大事なお子さんをお預かりしているので、プールのときの写真の撮り方や着替えなどをどのようにすれば、お子さんたちを守ることができるかということを、とても意識している。職員間でも意識のアップデートをしていかないといけないと話している。

(委員) PTAは夜の集まりが多く、小さい子がいるとお母さんたちが出るのが難しい。会長の男女比は男性がほとんど。家庭での協力が得られるのはなかなか少ないのが現状。

(会長) 着替えの話では、学校などは1人1人個室というわけにはいかないが、大まかに分けるなど、嫌だと感じる人の選択肢があるというようなことが必要だと思う。役員などに男性が多いというのは、ひいては、経済会議や政治の面での女性の数にもつながってくるのではないかと思う。世界経済フォーラムが2024年に発表したジェンダーギャップ指数の日本の順位は118位。去年は125位。7つ上がったと言われるが現状はほとんど変わらない。政治と経済の面で順位を下げているが、健康と教育はほとんど男女平等に近い。全体を考えたときに学校の中での役員など、先ほどの話につながってくると思う。今日の資料にさんびあでの講座のチラシを入れているが、男女共同参画について日向市にずっと関わってこられた、たもつゆかりさんの基礎講座もあるので、ぜひ参加していただけたらと思う。

■事務連絡、その他

事務局から、次回審議会の開催予定について説明を行った。

■閉会